武士の世の中へ ① きほん 答え

ステップ 1／9　答え　　月　日　名前

1 （　）にあてはまることばを、下の ことば から選んで書きましょう。

1つ5点（30点）　きほん

(1) 平安時代の終わりごろ、地方で力をつけ、武芸にはげんだ人々を［武士］という。

(2) 平氏をほろぼした［源頼朝］は、鎌倉（神奈川県）に幕府を開いた。

(3) (2)の人物は、1192年に朝廷から［征夷大将軍］に任じられた。

(4) 幕府は、国ごとに［守護］を、村などに［地頭］を置いた。

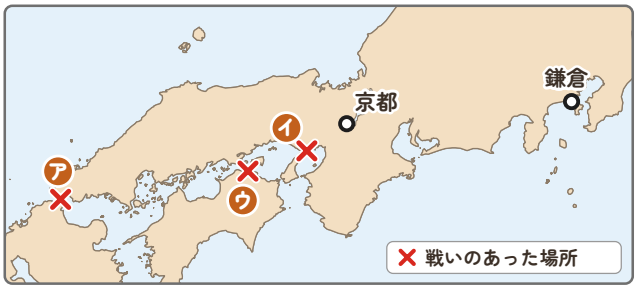
(5) 源氏の将軍が3代でとだえると、北条氏が［執権］という役職について政治を進めた。

ことば　武士　貴族　源頼朝　平清盛　征夷大将軍　執権　守護　地頭　関白

(4)は順番も正しく。守護は国ごとの軍事・警察、地頭は村などで年貢の取り立てなどを受け持った。

2 源氏と平氏の戦いについて、地図を見て答えましょう。

20点　きほん



(1) ア〜ウの戦いを、起こった順にならべましょう。

［イ］→［ウ］→［ア］

(2) 平氏がほろんだ戦いは、ア〜ウのどれですか。［ア］

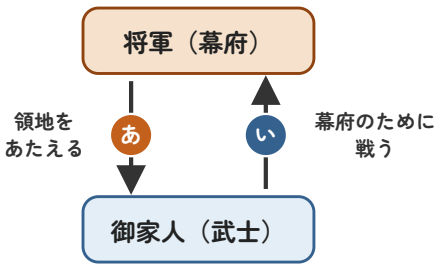
(3) これらの戦いで活やくした、源頼朝の弟はだれですか。

［源義経］

(1)完答8点、(2)(3)各6点。イ 一ノ谷（兵庫県）→ ウ 屋島（香川県）→ ア 壇ノ浦（山口県・1185年）。源義経。

3 将軍と御家人の関係を表した図を見て答えましょう。

1つ5点（20点）　きほん



(1) 図の あ・い にあてはまることばを書きましょう。

あ［ご恩］　い［奉公］

(2) 次の①・②は、あ・い のどちらですか。

① 手がらを立てた御家人に、新しい領地をあたえる。［あ］

② 「いざ鎌倉」と、幕府のためにかけつけて戦う。［い］

将軍は領地を認め・あたえ（ご恩）、御家人は命がけで戦う（奉公）。土地を仲立ちにした結びつき。

4 元との戦いについて、地図を見て答えましょう。

30点　きほん

(1) 元がせめてきたときの、幕府の執権はだれですか。［北条時宗］

(2) 元軍は、九州北部に何回せめてきましたか。［2］回

(3) 武士たちを苦しめた元軍の戦い方を、2つ選びましょう。［ア］［ウ］

ア 集団で戦う　イ 一人ずつ名乗って戦う　ウ 火薬を使った武器　エ 鉄砲

(4) 1回目の戦いのあと、幕府が博多湾の海岸に築かせたものは何ですか。

［石るい（防塁）］



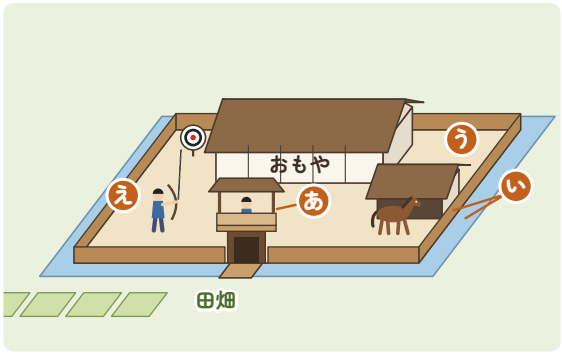
各6点（(3)は1つ6点）。北条時宗。(4)は「石のかべ」「防るい」も正解。

おわったら ○をつけよう　◯ できた！　◯ もういちど！

武士の世の中へ ② 活用　答え

ステップ 1／9　答え　　月　日　名前

1 武士のやかたの絵を見て答えましょう。　24点　きほん



武士のやかた（想像図）

(1) あ〜え は何のためのものですか。ア〜エから選びましょう。

あ［イ］い［ウ］う［エ］え［ア］

ア 弓矢の訓練をする　イ 門の上から敵を見張る
ウ 敵が入ってくるのを防ぐ　エ 戦いに使う馬を飼う

(2) 武士は、ふだんどのようなくらしをしていましたか。

領地の村に住んで農民に田畑を耕させ、武芸の訓練にはげんで戦いに備えていた。

(1)各4点、(2)8点。(2)は「武芸の訓練」「戦いに備える」のどちらかがあれば正解。

2 次の資料を読んで答えましょう。　1つ8点（24点）　きほん

資料 「頼朝どのが幕府を開いてから、みなが受けたご恩は、山よりも高く、海よりも深いものです。今こそ、そのご恩にむくいるときです。」（1221年、御家人たちへのうったえ。一部を要約）

(1) このうったえをした、頼朝の妻はだれですか。［北条政子］　(2) このときの戦いを何といいますか。［承久の乱］

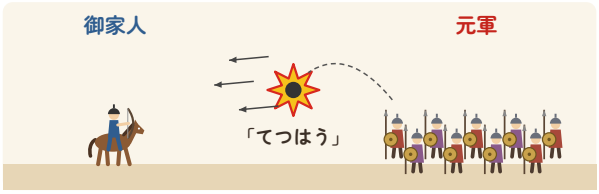
(3) 朝廷が幕府をたおそうと兵をあげたとき、うったえを聞いた御家人たちは、どうしましたか。

団結して朝廷の軍と戦い、これを破った。（幕府の力は西国にも広がった。）

北条政子、承久の乱。(3)は「幕府のために戦った」ことが書けていれば正解。

3 元との戦いのあとの様子について答えましょう。　26点　★チャレンジ

資料 ある御家人の話：「わたしは元軍と命がけで戦った。しかし、ほうびの領地がもらえなかったので、鎌倉まで行って幕府にうったえた。」



(1) 御家人が命がけで戦ったのは、「ご恩」と「奉公」のどちらにあたりますか。［奉公］

(2) 幕府は、なぜ十分なほうびをあたえられなかったのでしょうか。

元との戦いは国を守る戦いで、新しい領地を手に入れることができなかったから。

(3) その結果、御家人と幕府の関係はどうなりましたか。

御家人は幕府に不満をもつようになり、ご恩と奉公の関係がくずれていった。

(1)6点、(2)(3)各10点。(2)は「新しい領地が得られなかった」、(3)は「不満をもった」が書けていれば正解。

4 貴族の世と武士の世を比べた表を完成させ、問いに答えましょう。　表1つ4点・記述10点（26点）　★チャレンジ

	貴族の世（平安時代）	武士の世（鎌倉時代）
政治の中心地	［京都］	［鎌倉］
中心となった人物	藤原道長 など	［源頼朝］ など
大切にされたこと	和歌・けまりなどの教養	［武芸］（弓矢や乗馬）

政治を進める人は、どのように変わりましたか。

貴族にかわって、将軍を中心とする武士が政治を進めるようになった。

おわったら ○をつけよう　◯ できた！　◯ もういちど！